

飛行検査で撮影した動画公開について

令和3年4月
国土交通省 航空局

1. 飛行検査業務の概要

航空機が出発空港から到着空港まで安全に飛行できるように「航空保安施設が正常に機能しているか」、「無線施設等で構成される航空路等(計器飛行方式)が安全で適切なものか」など、航空交通の基盤となる施設等の安全性に関して、**飛行検査及び飛行検証**を行う業務

空の道を示す無線施設等の飛行検査

○空の道(航空路など)を示す無線施設から発せられる電波の品質などの確認・検査



VOR/DME

飛行検査機



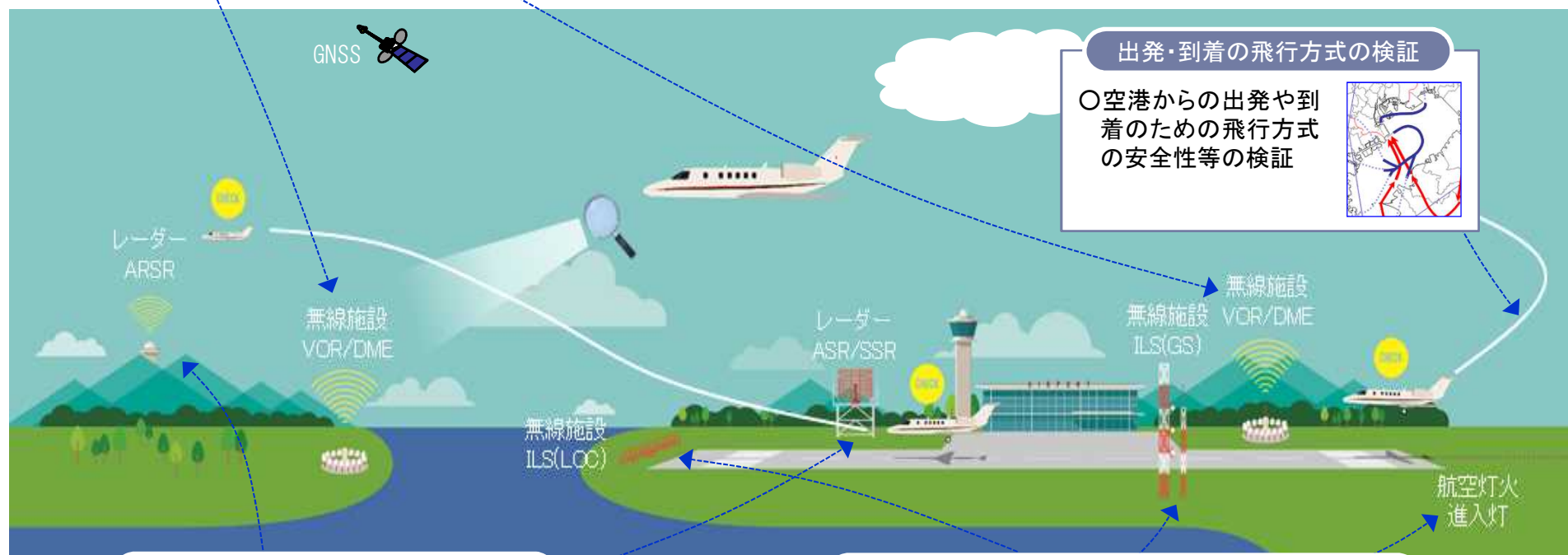
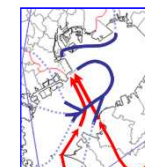
ボンバルディアDHC-8 1機



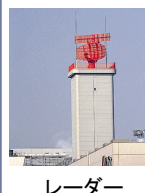
セスナ CJ4 5機

出発・到着の飛行方式の検証

○空港からの出発や到着のための飛行方式の安全性等の検証



管制官が使用する施設の飛行検査



レーダー

- 管制官が航空機を誘導するために使用するレーダーの航空機表示位置の正確さなどの確認・検査
- 管制官がパイロットと交信するための通信施設が良好に使える範囲などの確認・検査

空港からの出発・到着のための施設の飛行検査

- 滑走路に向かって進入中の航空機に対して滑走路までの正確な方向などを示す無線施設(ILS)が正しい信号を航空機に提供しているかの確認・検査
- 夜間や天候が悪いときにパイロットが滑走路を視認するために必要な航空灯火の明るさなどの確認・検査



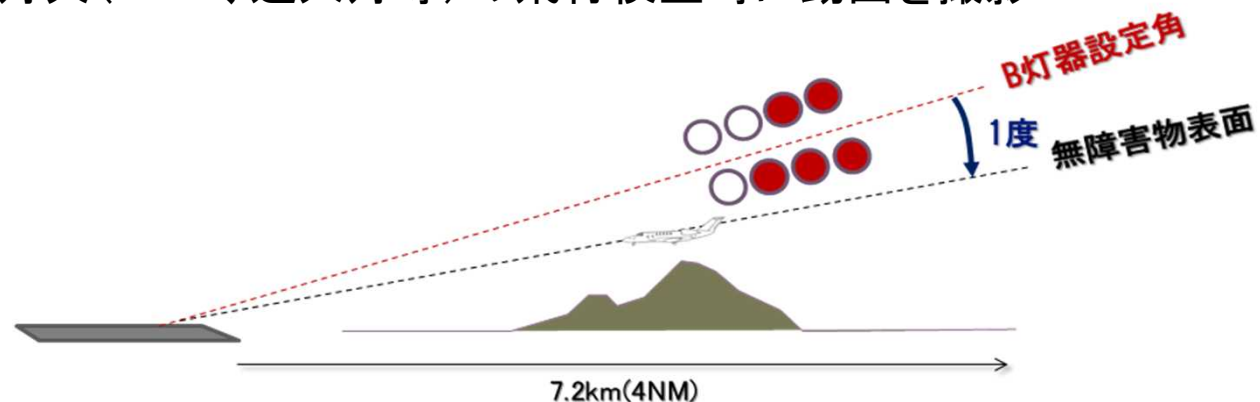
航空灯火



ILS (GS)

2. 飛行検査時に取得している動画について

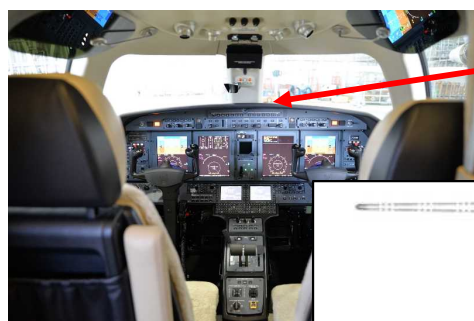
○航空灯火(PAPI、進入灯等)の飛行検査時に動画を撮影



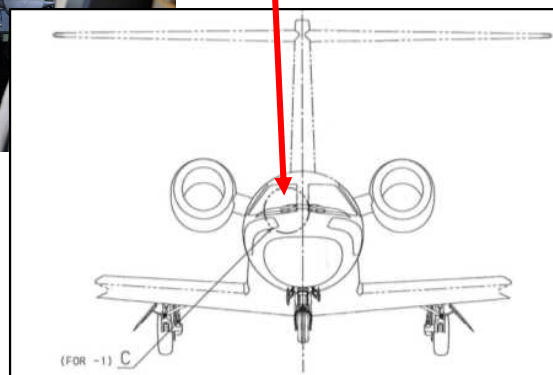
飛行検査飛行

標準的な降下角度での飛行の他、無障害物表面での低い降下角度での飛行も行う。

○カメラの設置位置及び映像



グレアシールド奥にカメラを設置



※修理改造検査時の設計図



飛行検査時の映像

3. 飛行検査動画の有効活用について

現 状

- ◆ 飛行検査内の限られた情報
- ◆ 障害物件等の確認といった飛行検査の視点で撮影

有効活用

- ◆ 目視物標の事前確認
- ◆ 障害物件との位置関係確認
- ◆ mitigation

VFRでの飛行が多い
小型航空機運航者にとっ
ては、利活用できる情報。

安全運航に貢献

公 開

- ◆ 情報を公開するためには、一定のルールが必要
- ◆ ユーザーニーズの把握が必要

4. 小型航空機運航者からのニーズの把握

- どういった映像を希望するか（最終進入経路、場周経路等）
- 撮影を開始するポイントや降下角度
- 映像にはどういった情報が必要か（滑走路からの距離、高度等）
- 公開方法
- その他

小型航空機の運航者の皆様のご意見をお伺いし、動画公開に向け検討を進めたいと考えていますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

ご意見・お問い合わせは事務局までお願いします。